東京産芸」賞様院に於ける部長

の平既きを打して成立を告げ、一召集された、この日質疾院は所定 む各派の態度を決定し、別概含正 単に緊張した情勢の下に二十三日 特別機倒は、北支事態により異 わて、政民南、強間において振術 結果常置したる新聞はは午期一説記では過度の第十九回講選 長原雄を行ふべく諸雄に意果 土体を開き正制を長頭撃に臨行院し、各派は平前十時より 「江流」 五節内閣初の第七十

東京治話』召集日の関機院は中 がは三百八名本館は異に参集、ル時三子振路、松平編長をはこ 貴族院 召集日の

常職の決定報告を受け引頼き各 世の諸場に登集、長古記は長上

岸部隊計畫

を進む

発行した、年の指揮機本方針に大

施道の原因及び目

鮮台兩行法の改正案

医院は成立致しました、よつてこ 松平路長より「これを以て近 星一氏政友入り 単に既所能に衆議院に通告す 特派員』北支那在田一萬館の |整横軍事上に採歴代務を帯びさせ、熱格所、共調示量が関力して推薦||共に首重名の時部民間義勇隊と||朝鮮人指派に関して川地部隊では「諸田軍務官を中部とし東副令部・「韓人は続三千名によっか、事態と 特派員』北支那在出一高館の「李中佐、柳大尉、元中尉龍に本府「森が進められてゐる、天建在住間」り、廿一日朝鮮人前館で蘇聯式を【二十二日〇〇發酵井」なべく、支那県田単の方動に基を「足がる事になり着々其他的事業制」数となり租金藝術に第七派解が吹

学业二氏1、世三百金光代稿士 紹介で政友圏に人類の手機をと 東方議長候補决定

けるの衆議院

台流し語長に小山松春氏、副語長 野につき協議の結果、政民南気と 東京市話」東方面は正副議会理

に改定その他各面の新聞代謝士一二十三日午前十時三十分振命と共 世紀官長、議長際に著る 世紀官長、議長際に著る 「東京市話」召集された衆部院は

投票機数四二二票 とぼし先つ選挙に入り本証的初の 例により議長盛に着く

その世九器

催土社本

現地取决めを承認 南京政府 宋に通告 | 第二部長 公野 慶司 | 指幅(火曜) 年 第一部長 侯野 西郡 従藩(火曜) 四郡 従藩(火曜)

抗日侮日政策の誤謬を暴露

我方は徹底的解決に邁進

大危機を孕む

世 百00にて

『虚正』日前なくこれを表表して「軍は段素態度を吸めす陣地の補修」次単微の膨大、不療大に重大なる。しつゝあり、更にまた中軍を政権された。「軍を減みてゐる魔滅護方面の支那」民態なり』と緊結してゐる一方今、つて各地よりの避難以を無故道下れた。「軍の地級方法に議長に二年で、罪を減みてゐる魔滅護方面の支那」民態の地級方法に議長に二年で、罪を減みてゐる魔滅護方面の支那」「民態など」と緊結してゐる一方今、つゝあり、更にまた中軍を政制を記述して記述します。可能の七漢意を、懲を使つった軍服別項に毀壞に至ち 新田の按野を述べ、大いて様長 は廿二日中に撤退すべしと言って うち那個では北平的虹の支那軍隊 一二九職 長吉 風文は「兎年城は「参東の軍用刑事を撤越して数々なは悪い重大危機を争んである。即「最適の信然として扱れざるを示し、に過節艦の電波と行ふため、目下は悪いを放撃としてみるが、暗面」にも小説中観と我軍に概定すなど「起題」は十八日午後以来大同方面なら彷徨をつづけてみら支那の殿」つて慰急補修を加え、さらに張遠 ので、中央軍勢入十四神(帥長高 遊地なり、余は城と住亡を共にし、徳に多め、部隊を慶武器に下事権

山東省内に検送せるなど取べたるに南 京方面 より高財配中敗門を に到着、服务の用源に多めると共せしめ、廿日山東省番節(部州) 統日務極情報がはへられ、一

戦心の保動に狂奔してゐる 処派に職務容共を以て触ら我軍に に張込み、湯伯安、郷際和らの強 戦の開始を宣傳し、龍斌が同地関 赤続分子が高人・旺んに即時代日 提売せば、解職はこれに必要とす 2歳で東上した和知財用事意識は「東京に西」二十二日天都より飛 十二日午明九時季與本部に続き 和知察謀打合せ 同見、現地の情勢を詳細限 英の擴張に匹敵する

中央軍の作職機議地と化した個定

付けて来客を一人々を機関し『日 では耐えす二十九軍が長銃を探き る形勢を見せてある、かくう向標を細々と直動する等値のて輸出な 本人ではないか、と問しては用が 重を極め盟合以北長定門に至るま 中であるが、列州の機関は横形版 の傷めに急行列車も一時間以上延

到泊せる時には鄧麗婦沢せしむ、要な理郷に避癒中であるが、形勢、要な理郷に避癒中であるが、形勢、 着するがつねである。 化生の時間

別から用語の語館は愈上州出師を「職職を出願した。うなりが解はる、 限を着た1千九里の民が間相刀も飛により今次北京建設官前の宣伝」によって夕別能くは地が出来た徳一様も、二十八幡の塔地には厳監の 『市里店廿二日間間』日本側の要「平波鉄路県平野市皮長等非顕向等」機関中には白根の機関手が自飲を 敗殘兵として保定へ

| 一次の「大きな」となってあた。 かくれる、力なけに配引する概念。なる、液量な監視の下に養に一変にた。 この日報来ば此気がを出して「見るな」と意思現を限く転嫁内に、過ぎて行くのだ、思へば寒の取に一 文字山の下を通過隙壁に顧望し、は「武士の解た」「孤遠する難を「今晩媛の我として我年の都を通り、後間を出露し、関五十分わか○○」こと見ると、我集の配蔵権权以外「す典徴に待機してゐたものらしい機関を出露し、関五十分わか○○ | おけて伽藍的単に飛退に決定。モーク鶏の亜張方面に一種の影響が上、小磯の青後に関したまとうつしりあけて伽藍的単に飛退に決定。モーク鶏の亜張方面に一種の影響が上、小磯の青後に関したまとうつしりあけて伽藍的単に飛退に決定。モーク鶏の亜張方面に一種の影響が上、小磯の青後に関したまとうつしり

留民は不安 室田本府事務官語る

学部 除檢閱濟] 天 一一十一日の夜も 部と共に二十二日曜以、北平の昨郎総督府東帝官は同場形佐々木憲 ○○□▽趙本趾特派員發

のため過酸北平に出版中の室田蘭 りて二十三日出航上権に向ふこと く手配中であるが、特に朝鮮同胞。井柳産龍域の四家族がトップを切



は近石の部 かて近大なころ つて野人交きん 配成と小山松清

持って

鍛練の夏

健康の夏

山にも

メンソレータム

流に数し最正公















十年!! 忘れて

日焼けを

メンソレータ ムを







使つて

十年!!







藥庭家之界世



本日タ

八海軍計畫を决定

超然政策から積極外交へ? 側を一颗して歌歌歌の歌筆主義が大変歌変を保守さであららと示唆してゐる では、具體的内容を發表すると確聞する、以上に對照認に無 するルーズヴェルト大芸術の所信の支頭で、大部部に「歌上を「悲劇の座集師」と 上は従來の傳統的超然孤立政策を脱却して積極外交に上は従來の傳統的超然孤立政策を脱却して積極外交に上は従來の傳統的超然孤立政策を脱却して積極外交に上は従來の傳統的超然孤立政策を脱却して積極外交に上は従來の傳統的解語。

大地である。 一大地である。 一大地である。 一大地である。 一日歌歌歌歌の語歌のは における日本帝國民の結束のほ における日本帝國民の結束のほ

合脈した支那を見て、日本の結果をしと早間を見て、日本の結果をしと早

も貧しといった

るを膨れまいぞ

悉く近代日本の理秘よりた。文の三民主義に列奪した範

ないか。除りにも日本を知らな 二千年交遊の日支の間柄では

欧米かぶれせず、日本を見蔵

るまじの米成年別には後期人とこちらで付けてやるより外はあ **斯の一を語欲じて曰く『日本**

で埋めてしまって、職事の記事の紙の高いのに、新聞を愛護心

る業能横の空地。○○○今晩○○午後八時半から○○○○入場無料

事變發映畫監公開

と一つ、『御風のために』と継々たる夏四心で彩られてある 型けられたのは異変中の午町一時半であった。 決点なる意気を示して、自ら聞いて能へた金と持

『高砂や』の代りに軍歌 、駈けつける

孤獨のお婆さんが

全財産を投げ出す

軍司令部へポンと五千圓

ることとなりこれがの間中であつ

武巡投公左前。龍山府校址 | 合於夫人、川岸部隊提夫人を初

六百名の祈願

|形された射撃||東京体験委託所 盟の後数に難いて慰認を行うこと能器に刺鞭され二十一日急運 即も各前問點の代表を招きこの職

あす總督府でひらく

の、神郷の

が二十四日午明九時から在郷軍



天氣豫報 (21)

空間画 にとによる

仁川の潮時

殊勝な按摩さん

四人で百円を献金

西大門を扱ひ世三国

食傷、急激の腹痛 胸つかえ、酒の宿醉ひ

本劑の鹽効

便に血の混る様なひごい

胃腸障害、體の疲れ

学代本丸

CHIYOFO CO

綿質 心(油

\$1.35 墜

ニュジ•ンマルニコC•C脱沂 智弘……ア 式水防部轉廻全 製鐵鋼 方味の家乘愛萬百 資経て夫丈 <u>37—18</u> 町間側小橋本竹京東 町製御工車博育口山



スーキョ ンリザロ

ルーホョントスーサ

神様派の上海ボの後を

19

本部の登場 出力の信 但

10.



イケダ小見内科 日本版を1 11mmで 地 田 時期記言院記

會

直加伊莱朗州运汽面

本面でで作用は、近日、四 **静法**、習言

將兵一同士氣旺盛

つて御期待に副はん

南雲部隊長と金少佐から

州民へ威謝の電報

寄る邊なき出征勇士の懐

飛込んだ非常時女性

が手に変れた解兵中尉北村昌武郡の職職の副刑國三河子で無援題威の

もた配報が届いたので

大ナル敷送ハ磁射ニ塔(ズ東) 遺離仕地に向了將兵東) 遺離仕地に向了將兵東一屆十三屆メテ旺盛ナリ、一屆十三屆メテ旺盛ナリ、一屆十三屆メテ旺盛ナリ、

第7世六日午後一時か、 行立一日まで

在廿四月午後 一時十五分原

北支事践が導光線となって、変に一変國で凝り固つた努力を奉仕して

銃器の手人れや掃除に精勵

勞力奉仕

日分の仕事を六日で完













烈々たる熱情に燃ゆる青年

憲兵隊を感激さす

は親兄弟のない如兄であ一と真情を披露し同僚では感謝して昭四島世昌君(『』)と真情を披露し同僚では感謝して

ツー敵機空襲

時間にして千八百名の團員集合

近川金地校副原英一のが成み続け 後科生要な概ですといる開版男と

教員と大學生

これならば大小

言いが急行し反抗するのを取押へ

後援會と協力活動

釜山醫師會4蹶起

理 (本) 「南山」造版系 | 飛が上・暖濃版、五十一分概全成 | 概成が複合各版投の製作について | 1 にあたつて好成 のもとに非常が複を行った、析内 八時を丁、ついて好成で研修施館 | 2 にあたつて好成 のもとに非常が複を行った、析内 八時を丁、ついて好成で研修館館 | 2 にあたつて好成 のもとに非常が複を行った、析内 八時を丁、ついて好成で研修館館 | 2 にあたつて好成 の電話相談によつて一貫に通動を | 2 おける観合方法能に研タ軸像につかんがみ変面サ | 開始し指定の組合地監督機関で地 | 2 に対して対合せを行った、右について | 1 に対して対合せを行った。右について | 1 に対して | 1 に対して

獻金ご慰問金

日本の主へのは、日本の主に、「日本の主に、日本の主に、日本の主に、「日本の主に、日本の主に、「日本の主に

時局講演に感激した青年

脚路仕一段落を告げたので真道歌 から脱敗絶出で中肺が削して雰囲脚金を影響することになり二十日

染の日の丸



ので同盟では重ねた。の定期に試部に献納したいと繁殖器に申出た 使用した登談トラックをその論正「不卿」半続の職者が交も憲定し「日本日三日愛願部に伪入するのに」「不卿」半続の職者が交も憲定し「不卿」

巫女も感激

題に翻起し三十九名が大雄し廿二

の獲用、初等職校生徒、女子声年 天]二十月午後四時順天公司堂で

第一線の殉國志願

近に翻起し三十九名が大学に仕二 同女は秋田屋山本都生れ、去る明代文明を明ふあ女祖も時局の繁 平塚窓に選挙芳を翻ひ出た「中野」選倡任被の郷いに迎はれ、おされがあると和主は聞くなつて【中野】選倡任被の郷いに迎はれ、おされがあると和主は聞くなつてあるみりへ自我の「帰門」の献金

慰問金五百圓と ラツクを献納

感激の怒濤・赤誠

一窓にも愛國熱

教誨に感激した受刑者達

自發的に續々献金

| 「「大学」に会画、日本町店員 | 大学大学版 | 日本町店員 | 大学大学版 | 一個三十九級 | 大学大学版 | 一個三十九級 | 大学大学版 | 一個三十九級 | 大学大学版 | 大学版 | 大学

「雇にれてゐるが十一日平瀬府時路 雑職等」とは安州日和空間環構に

こクテが現れ除二頭を咬み殺し気

一、ノービール の味は新鮮

なる果實汁の

セントでする景氣附には

强 飲

ヌクテ出現 豚を咬み殺す

の富士繁旦職職(二十副位)を失り里金能秀氏改口にあつた同家所有

支は四郎で同事権に見つてゐたの

7

Ó

◎ 實際 11111 Ø 効:

驪州の愛國の士崔永洛氏

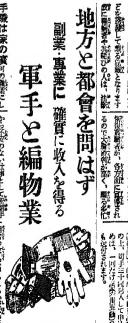
本の名品い、和歌山市三年版を別では、新春の間に影響を開ての観光 激し、緊ଷを立一を使めてるます。 果,

(幸)の新東を満しく窓はした郷田

でるいれき、「林田康結婚」に前(電話一〇人の書)は、内外から内 き続ひがない。即氏は飛び軽消費一町大連・るいれる所名等に受象部 **東部に作用して次第にグリグリに** 和歌山市三年版一特の治療支配他康の中生を記述し は、全部別名で無代連帯しますから此に の影響的セナ、同意報点面に京城田 の影響のはたとかいて他が久、此交域 まで修修的で成って、一次で、北交域 しの健康をお迎へなさいませるのよ、切手三十姓は人して申入 のよ、切手三十姓は人して申入 めは、一門と子(八 合語様を個んだ人をに、ヒミツに

0

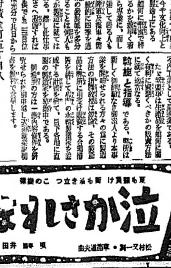




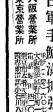
他殺の疑びで活動

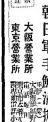
般的に四季を通 たい 物能 と指導である、監解は と顔で流がなる。 新しく御舎殿なき御宗人より本部

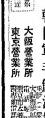
方法の指揮的技術のでする台地構 方法の指揮的技術のでする台地構 のでする台地構 関を断して配置の水板製造水を設



東京營業所 照航票 高品等 教 日 軍 手 鮮 滿 擴 張 部 柳 日 軍 手 鮮 滿 擴 張 部 柳 市 黄金町五丁目八



















小児百日咳に 飲み易い粉末

(精 . 7 無)

半島産業經濟の重要地位

元山府を展望す

平元線の開通で南溝へ最短距離

海陸の便拓け北鮮の關門都市

東海岸水産界の覇王

一底曳網組合

財政各種施設は業界の羨望

将來の活躍と發展を期待

組合の陣容

組合長 和氣 係古

食

堂家庵館

楨 六通岸海府山元

藤

岡

喜

郞

し組合収入は五年度ル子園、六品豊和川東水面組合内に置き事象高二千歳四の水揚をな、木場三畑氏として朝鮮風、広横橋

元

山

府

游

岸通

懇

薦草茂る六十年前の元山

通の時代・西流州への最短距離となるべく。今や。都元山々は商業都市として攻正県都市として半路重要部郷の道學など見を持ち四月にして観測層目都寄覚に違す。覚はには三天軒の死職地にあって、某後域の関連に世界の会議・金剛山々を一六杆権に望顧し、平元紀秋に知られ、 寒に産鹿の便にあみ、帯上百七十八酉で官方に総門あり、三百五十酉の北方に諸職あり、四百七十酉の財戦に攻撃を有し、護弘一

『見よ』今日の躍進振

八口六萬 貿易額三千六百餘萬

日から九月三十日まで特甲、GI海道を取り製に林間にコースを配

本、脚盤、追溯の各代がある。 新、脚盤、追溯の各代がある。 新、脚盤、追溯の各代がある。 新、脚盤、追溯の各代がある。 新の名代がある。

單、(百四十回)乙(百二 | した天然の大リンクである、向は

同社にはクラブを使かな料金で貸

見事な實を結び

材界を風靡 今や業蹟は進展飛躍 大村氏の快腕盆々冴ゆ

州有餘年一貫した

測候所

鳥越所長を迎へて陣容完備

四十八萬八千二百三十餘トンであ

各種設備を完備して

せられ、現在に至った、大正四年

の十二月に現在の新聞会が地切し

次配合の移動等もあつたが、深度 や名脳及所管の整連があり、EIX

元山海水浴會社の使命

朝鮮総監付戦別所の言識を制定せ、戦別所制は悪止せらる」と同時に

在仁川の第三路時観湖所は

元山本町通りに近錦を構へる飯山

る次に産業、經濟の開助狀況を見

柏

井木

材

店

元山府海岸通六丁目

話

内工場に〇〇年の大製材工事を

會

ト三

ポ酸ー プ機ル 店理代約特

本野實出商金物部 三菱商事株式會社 物部 三菱商事株式會社 物部 三菱商事株式會社 物 三菱商事株式會社 物 三菱商事株式會社 物

二町旭府山元

元山旅館組合

元タク株式會社

神宮具太郎

所張出鑛買山元

九芳館と松濤園 皆さん一度は遊にお越し

「松野町と女野と女野衛館は「初め全部からの那里をで作事の如っ黒紅鼠が「おらが自慢」の「に松野町ホテルを設け更に京成を

諸企業の發達に益々發展

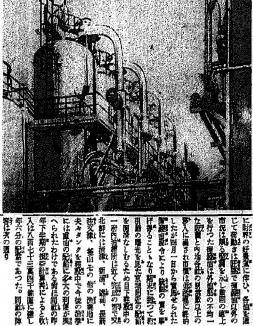
ホテル

株式會社藤田組

兀山鑛業出版所 元 山 府

京町

全鮮的販賣綱を擴大 諸般施設の充實により



年七月完了し、八月一日

次に脱資額の増売と共に各級に総を得つくあり本年上平期はい頭も統定な中に終始してる。 宮殿方面の周 配製品に 對す 官職方面の同意製品に

六分の配置であつた。同意の陣

忠兵所《取締役皇介堂助《同中村 三英順和三回に分けてこれと気

輝く五十餘年の業績

日商工會議所

原第力した結果、大正元年十二 斯して治殿の建設であ 無味式食品と敗降した現在では 存から始めて元山市街に窓灯の できなかつた、同社の影楽品 周田、原学士二月廿 山野工電場所は明治十二年元山 時代から今日まで五十有條準、元 ものがあり、殊に威敵級の促進、 波等あらゆる方面に全力を原注し

漁村振興運動の先驅

批群仙方面に至る三百三十粁に 自治行政事務を分離、その後、大

氏は長崎勝盗戦郡の出身で千葉暦一年敷地二二〇〇年小容人置 元山本町一丁月山川福院山川恒三 年六月池に通りに、總革数三四(

院長の腕

元山港の改修を望む

元山商工會護所會頭

杉野多市氏談

山は上配の如き歴史を有するに加

らず、最近建設せられたる他の音

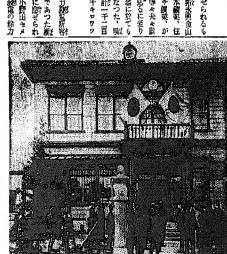
埋堪を以て取入口として、夫より 里備領郡大林洞にかて陽日川 棚はんとするにありて、この は元山市御を取る でとはの

爾比明治四十五年

関する製色があつた後で、役員の 道路、役員間の万道によつて計算

ント川内里工圏の自家総権の徐力ず昭和四年四月に到り小野出セメ 次増加し金融な流音要に励ぜられ 建設富 初の水力熱気所容 るに至り、その取付馬力數も百

在に於ては小口動力制制一千二百



初め大小数十に及ぶ。別はを持つて一て開拓に全力を注く一方七階里 を勝し二百名を飲料する大田間をもので、これに名成実故三十歳名 ゐるのから見て蓋し全幹一といふ 宜べなるかなである、

三十名に及ぶ次給班を際してサー 他に見られないものがあり、 として贈り、その政備及び内容は

本店に大正十五年の新築したもの 知識に乏しく現位的加業を行てあ るべく砂断し、先づ江川近漁 記事者以上の 潜を入所 表立した、この 訓練所

|程成界の翻版に貢献する南大なる。元間下影者の翻版、水路事業の助し功績は質に大なるものがある。山帯の軽減は勿論同地方における。京元都代謝。近平方郷故の布数、地、水道記述館、掲述館の開催等その山帯の軽減は 上直の最山川村福

北鮮商工業發展に貢献す

には六十五萬人五ヶ年間に七景

本芳 Ø 店 檍 88 (洲 林 元 儀 山府

本町

三丁目

觚

九山畜產株式會社

元山府泉町 四 丁目

山穀 物商 米業組 組 合

東洋拓殖業會社元山支店 朝鮮商業銀行元山支店 水 解 解 銀 行 元 山 支 店

元山 元山 咸南合同電氣株式會社 朝鮮運送縣會社元山支店 無 冷 盡 藏 株式會社

朝鮮米穀倉庫艦元山支店 北 朝鮮郵船縣會社元山支店 株式會社

を示してある。加して進から

温量一元 山 府 **略**

共に、元山に此の

鮮に於ては第二番目に開かれた

四年市場である、霊時は明治権 修订明治十三年五月の開催で

の機運に嫁換し今日の陰脈を見更

数年期が建設の近代に正常

境の然らしめたるもので、元山開 大たるの数ある所以は駆り雷時環形の都市に比すれば、其の認識運

市以来和六十年の永き直音を

間ならず、

鮮

米 油 株 式會社

使士で萬歳々々と興叫してゐた。 2週へ何とも三へない感しさらな このことは配つてから畏き透りに

際での話であるが際ばかりではな いんであた。確然に入つてからも の野人の部落があるが、白い着物 いてゐる人々が宇を駆けて萬識を 、我々の汽車を見ては野良に働 らであったが、春天瞬の西方に

至上申し上げた處、殊の外飛動の一て、全難の組合與自五六十萬人は 朝鮮の方々を相手の仕事なのでし 大部分が朝鮮人、そして金組の機

責任を守る

時に比べると樹製の相違を縮原せ ありますな、とにかく面割事態音

ス納 (前號より置く)これは の数出など質能跳ぐましいものが 即氏 (朝鮮郭州郡段) ◆司龠者 高田本社々長ンス階が校長) ◆崔南善氏 (中編院参議) ◆ 森辨治

鍋水三郎氏 (金型聯合會長) ◆ 吳兢善氏 (セプラ

◆久約誠一氏(朝鮮三番談長)◆矢 工意的情報) ◆韓相龍氏(關東和顧問) ありません、とかく内地から来た それに、北帯上の他郷にも知りは はありません、内鮮同じ比率です。 **しとか側

卵人

にからと

至つれ

原脈

ベリン

通行動

も去え

左

肩大日

ヒン**

航空博動と英國のインピリアルニーふことになっ

デンブルグ壁の爆戦事件で産に破

多少の間違はあつたが内地人だか違いを起したことはありません、

を起し易い金銭を扱い仕事ないで 別までは樹鮮の方で、となく間違

大公園 朝鮮の方々の眺望な話 うに思ひます、多少は大事によっ 朝鮮人行政が三分の一ゐますが、 ます、私の施銀時代ーーあそこも はこの間例をひいて証明して辿り うな人がありますが、そんな時に あらゆる些から見て缺陷がないや 人々は衝鮮人の映監を運調すして 定開空机路の開設を計載してゐる アウエイス航空河北江東七十一月 しか し一九一九 年六月十四日オ 日を期して英米連続二十四時面 タとブラウンが始めて火西

PC山作品

林長二郎來演

來る二十六日から四日間

明治座にお目見得

洋極地形でに成功して以来、九三 七年六月末までに既に九十二回の 際種子、北部修、高端哲子等、賦」の京域來演は象よ來る廿八日から は、羅吾郡遭害無難『土用主む』是に描いたもの、助演は清川市技 松竹時代録點の人学課費林長二郎 四日間別治難と決定した、長二 二人を九州南端の資料女學校を背 やな田舎の女教師 (山縣直代) の 吉島電子原作の映画化で、都合育 ちの者い歌師(霜立のほる)と質

米國映畵スター達の

総数ジドニイ・ベルンユタイン氏」グネイ、大口のジョー・E・ブラーとが好きか? 窓圏一流の映画記「ターは男の方でジェームス・キャー

一切映画は右の『上国主義』と大船 を置演することになった、同時針

明田堂、上廊、佐公司、佐野

か設立ファント大萬人に對しホリーウンそれからテヤーリイ・チャブ 天のが、ゲーワー・クーパー、女 リン・ヘップペーン先頭死んだジ 紀果、明優の方で断然自位を占め、マレーネ・デイートリッヒ、カザ 「ツブであつた。六位迄の結果次が現れ、ペルンシュタイン氏を面 フリドスターの人類投票を行つた。リンで女の方ではメエ・ウエスト

ではノーマ・シャーラーが、ソ・ハーロウといい関係ある結果 | は一個時一(監算は核比上的) チャールズ・ロートン、四位ロー第つた所 一位グーリー・クーパー ての位置から 『ファンの法文』を思修 一位ゲーリー・クーパー ての位置から『ファンの法文』を 戦らはした最後に映画配給者とし 一人今晩のラデオ 総共前の「統約三羽鳥」で人記録

一、配役タイトルは映画の終りに一、もつとニュース映画を処すと「二」ス映画を処すと 【九時時事解説(東)青山》

酸賣元

咸北羅南

朝鲜

チュク製造

肵

} \

有

たつ上り盛然俄 誠熱の人島

現せしめる方法に就て御意見は「ひます学品民の魔家意識を更に一番高」都出来る「司・曾」 せつかく芽生えて来た しても運営事態以前の世の中と ませう。こんどの重大時間に際、るんです。だからこの傾向を助長 労配つて来たことがあり 調について 國家奉公の强 人西洋横斷飛行 出来たとも云。を確保したいといふ心が動いてゐ 方は整つて来 てゐます。よの北支事態に際簡して、今度こそ

御出来るやうにして難いたい だと思います、提供ある際最の中 く朝野人の國家施織が男生えて来 出ては楽ないものでせる。せつか ド入れると個々の

人間の思い所は てあるのだからそれを助長して

すが、金組削設州年間に大した間を横跡すること質に百七十四回、 来客一選六千九十九人を輸送して 一度も単数を起きなかつたッエク 八年九月十四日以來大西洋 成功率二割二分 となった+・の三五回 内死亡又は行方不明 △失敗 四四回



的々大聯蘇 4

趣味と学芸

土地黄海流半山地月峰里 静なうちに傍雅な時代色を示す、 高麗時代の劉鑫の一部樹様にして

一高麗時代一

(紙上博物館)

ヘリウムガスの夜出風アヴェート

機破壊的以来一層その重要 リウム製造で基を設立大々的に同ガス れるに型つたのに握み、今日 ではヘリウムガスがヒンデンブルグ號 の整道を開始することゝなつた、即ち

> つて、出て行きましたが、間もな 殿武の方へ顕出しをするのだとい

でものに関する思想が脳分類つ で朝鮮人の思想――日本国とい いたとけるといく宣傳になる」ございませんでせうか 整造所を設けると共に他地方に於てる 規模の正温を取けんとするものである 悪化し仰心目算がついたので先づ始め ガスからのヘリウム摘出が既に光分企 天然ガスが噴出してゐるが、この天然 **鮮城那には國内各地にヘリウムを含む に中部方面のガス鳴出地域にヘリウム** のウム産出地に試験所を設け順次大 催 さらです、私残の愛園心

して自覚し始めてゐた所へ、今班 事態を製像と に、現実たなんでいい。 在、りのです、 南書 と、 に相が掘つてみ と、 に相が掘つてみ ら出した広報を、私の前に突きつ に、病気だなんていいながら、 「雪龍へ来てゐたんた」 『想したつて駄目た。俺の留号中 「どうしたんです」 と聞き返しますと、ボッツトか と、解相が嫌つてゐます。 と申しますと

米たと思いますが

勿論可成り半路人の考へ

て、中津蘇衣だ。許七八人 私は、あいた日が墨がりませ

子供を見せる。子供を 『家には子供など、二人もないち (離つて来た三人が、顔色を變へ といふでは御座いませんかっ あるのちや確心いませんか」 を凝塵化すつもりだなっ ト駆はれるのが心外なので、 『馬鹿なことをいって、凱标は俗 と、今にも殴りかいりごうなが

や御路いませんから

つて概を閉ちてしまいました。 感ですの私も、ほかのことも出つ 整を立てたんで卵出いますよっ 暮に來たんだ。 中塚つもやなく 「あ、西まん」許せの領域の由語 すると、問もなく、主人が笑い 主人に内緒でお遊をしたなど

きのよの無限つて来っと、すぐ、 私は何見で床に近い ガヘ行つてゐた関ド ップ」といふ

電報典學

主人が長く内地のとなってゐて、宛名は「ナカッカ したが、一緒関き返しました。 なつぎだが、不敬だか

かは、似たやうな名の方が付出に るのも可笑しいと思いますが、 『私あての意義が、徹此の方へ本

完成後寸曜を聞いての來解で生 は、雁右郎道書庾高『上居主仏』 ファンに初始目目見得するとに いたもので接続のほかに長、部隊 凉 味 萬人向きの: 断然これだ!!



美味 滋養になる

> 產 名 Ш 頭





舞銀·痛痒 を感ぜす 西界は如何なる? 正貨準備は殆ど日銀券で充當 鮮台兩行の利害關係は異る 活調に轉す | To a a things | To |
To a things	To a things
To a things	To a things
To a things	To a things
To a things	To a things
To a things	To a things
To a things	To a things
To a things	To a things
To a things	To a things
To a things	To a things
To a things	To a things
To a things	To a things
To a things	To a things
To a things	To a things
To a things	To a things
To a things	To a things
To a things	To a things
To a things	To a things
To a things は 11世帯(4) 11世帯(4) 11世帯(4) 11世帯(4) 11世帯(4) 11世帯(4) 11世帯(4) □ 数安 □ 数安 一种(中)(中) 八幡 一 △龍鮮防 圖 目了河南小橋本日市京東 社會式株券證合聯 ##0七三番五〇十二月男才經費 988**9 5 5** ・ 別 らねえ、女男の手明 世間の手が、現ると、是が経り際に優れます。 その 実色 解脱を高端にもほかねんが、源内 協「関うに」が今月に一 その 事色 が脱来ら端にもほかねんが、源内 協「関うに」が今月に一 年の なら と とが経り際に優れます。 等名 まとの 大に 残いて私も所うやつて、我し 郷 「大ちやす地」で見らかよい。 そも 明 地んながかなどしねんでも宜い 郷かりますから……」 そも まとの 大に残いて私も所うやつて、我し 郷かりますから……」 MS3888 ßi へ 衛兵衛も百し船に頂けて駅心が 第二届で美れれやでは公安心でから	黎申し間かして誓った所でござい

+



低者の謝罪

回の北支事變に關しては、冀祭側において、致衰=支那駐屯卓よりの、報告によれば「人致衰=支那駐屯卓よりの、報告によれば「人」東京電話』二十三日午後八時二十分陸第1

北支現地協定の默認も觀念

を中心とする貧部の强硬平は 依然主戦論をた、尤も孫科、馮王祥等の 抗日派、陳立夫た、尤も孫科、馮王祥等の 抗日派、陳立夫との衝突を極力回避する 安島方針を决定し 問題として、各方面とも日本軍の前線部隊の 主張してをるが大勢はな協に傾き第二段の 励策を決定した事情左の如し 孤收如何を懸念してゐる、蔣介石が 遂に安

)國際信勢に闘する 在外大公使の報告が

來魔山にあつて 內外の情勢を注視、應「陷京二十三日同盟」 蔣介 石は 事變勢 軍事委員會の 首脳部としば、

(一)上海支那財界の有力反吸論が張公權、 (一)英米兩國とも極めて 消極的で特にイギ し効果的に事件 不擴大を動告したと傳へ

吳州昌を通じ 國民政府に傳へられたこと

責任者の謝罪處罰並に

排日運動の徹底的取締

別に卅七師の移駐を通告

他抗日系各種團體の指導に胚胎するところ多きに 鑑み將来これが他抗日系各種團體の指導に胚胎することを協定すり、即ち緊察側は之が 質行のた料策取縮や徹底することを協定せり、即ち緊察側は之が 質行のた料策取縮や徹底することを協定せり、即ち緊察側は之が 質行のた料策取縮を徹底することを協定せり、即ち緊察側は之が 質行のたりが、

賞行を嚴重監視中なり

事變の原因經緯を

から説明

同『を北平より他へ移駐する 旨通告し來れり、即ち二十二日午に勗するものなれば 將來双方の間に意外の事件發生を避くるた

上二日午後

別に翼祭側は今回日本軍と衝突したるは主として第三十七師

時以降の列車により同師を陷力に移駐中なり 駐屯軍は目ト之が

してゐないこと

で指を存し大小不平軍閥の整理が 本軍と衝突し、職局擴大す、場合

(桁三十階)である中央軍航空隊三隊

を置き保定、期刊間の北支付金世

上部兵力十五萬で省城に投機地

筑と見られる(富具は蔣介石) **導に日本軍が梅雄何職飲留とに基言中央軍の北上部隊の節敗と撃以上、之を戦闘するより外ない認だが、國民政府が国の最大副心** 不する混合の對策及び北支令後の政治的動向にあり國民政府が大 所くて蔣介石としても武力を以て現地協定の履行を始出し得ぬ をおき難く愈々長期抗爭に入る **砂線の組織は更に 困難と見られると**

)共産軍随時の共同作吸提議に敗かに信

給東する関れあり

北支侵入の

◆保定的近 阿提爾下6次百四十一 ● 第百四十二屆、孫延仲第下 ● 正定的近 多班應下第十二屆 ● 不定的近 多班應下第十回。第 「集符爾下第十二屆」 「東行爾」第一十一屆 「東行爾」第一十一屆 「東行爾」第一十一屆 近によび様子(原鉄順定・数)「上海二十二月三国・瀬田で・戦 して月下北支には人してをる中 中央軍現努

他の国時中止と問題への強軍を中一委は韓の許可があったので今明日、既向するに決した は前法窓の全路標度での小雅寺校に別日、職を決議し訓 史に諸語中であったがこの刑軍事。中に急遽事つて置して山し配統に、日の厭謎の逮機如前に

世級の中職関門を保守の政策にはないかと思うれ間職に関います。
「不管館新設」
「大蔵省成認

イド・ブックを介入する。

事態再び惡化か

派交渉権を開き二十五日の開院。政則九時五十分より院内陳長宗に各

11二十三日午

おうがない。

第二十二三・田 (894年)

ヒ・アラン・ボ

南京館大戦に急行することしなっ

新 令 (東京電話) 朝鮮納付所小楊院參議

【北小二十二月同盟】第二十七晌 佐が南京に出版の豫定であるた。その留守中は上海より稲本次

川朝出あつた

增季

自 黄帝院紙 散中

アナトール・フラン

僧

近衛子辭職御尤許

の独加下に編入され北上を命せら

より軍権副畿のたの韓国の海湾等。央軍の北上を即立せてもにおいて、出海領土した。なは、丁二月早期より軍権副畿のよう「十月」とれが小路とせば、奈州の海県市(三月中町十一路十五分水平和川路) これが事質とせば、背圧が延期中 三日午前十一時十五分末年前日時 れてあると襲告したといけれる。 の第二百十八歳の長的八百は二十 早前十一時十五分非小期一時

に金國各地より召集された盟百名(は宋晋元百号福祉、何勝欽協定を一兆平を出載した第二、第三周列出 上海各界抗敵後接會

郷船してある市央教育市は宋代元 種々南下郷籍市山口下その町日下河北省に

在開門無衛性府中構院等議被發

虎列 pi 当

熱の果で

*

モアンマーク・トウェ

「東京語画」近朝労働子と設計人 「東京語画」近朝労働子と設計人 「東京語画」近朝労働子と設計人 「東京語画」近朝労働子と設計人 「東京語画」近朝労働子と設計人

衆院正副議長任命

正ちに上奏部級可の手段を取り同 り内間に観過されたので内閣では り内間に観過されたので内閣では 早後四時半宮中南部間において より紫曜院開長 野 小山 松濤 行はれた断首相

硬軟兩派對立あはや大混亂

より衆演院副語の光・肝夫

創立總會は、二十二日上海市政府大標堂に全國的團結を圖らんどする各界抗敵後接會

化して爆發するに至ったものである、かか者の結託になる反對派との抗爭が遂に表面部排日を業とする抗日分子と國產品關係業的非科を業とする抗日分子と國產品關係業

實を隱敝し鎭撫に努めてゐるが興論の眞の豫期せざる波瀾に很狙した當局者は極力事る現象は從來到底見られなかつた所でこの

節題を示唆するものどして注目さ

「上海二十三日同盟」抗日救國を日

輿論不統一を暴露

おいて全國各方面の代表者二千餘名出席の

開育されたが端なくも席上硬軟州派の

ち從來屢々日貨排斥により苦汁をなめさせ興論不統一の醜態を暴露するに至つた、即議論對立したため遂に大涅剤に陷らんどし

貴衆爾院 決議

將兵感謝

祖に對しこの際歌詞の為を表明す 一取地が共に何違の 印刷により回過 東京電話 国衆國院には目下北 ら今回の川野 の内容説明あった 手配きを執ら が過化してゐ 印度你说所具 野川城山外相 れてある我品

【上海廿三日赤星特派 | に殿し位すべき消息によると有館。たるに捥らず、大蝎は主腹端に引山に於ける鷲明方針に

中央常務會議も不統

サで日の中央常務領線一線では蔣介石は主義高度無に済め、きずられ微論の末額陽時介石の線。 決定した

支那軍續々北平を撤退

商店法案は 7年提出

柳北原土五分第二十七師第三百十一年別九時三十分謎の第三列北で第一に向け用継した。なに三十二日年,がこれは實養の解説に必要な順酬(北水・十二日前謂)二十三日年「出郷・流經末州に向った。次いで「然の誕言忠路古日名に向しく米州」つた支那准縣は夏華郎で下頭した

ス階の第二級士自治に北平前門(韓) 百九版第二百十八階第一祭、第三 | 後五時四十分前門(韓より球州に向) 返送のためと見られる

川連翔より『支那天の隠越は日支』村方面と耐柳霞方面との計画があ]として極力素散戦後に殺のまく幾一たが面隙域については陽内には鴨| 爾斯法閣は提出せて 例限版において特別 法案の一部について で臨職した結果 ることに決定

大野 (洪)ド・モ (東)ボリス (東)ボリス (東)ボリス

ある」で現代・面田外組より開京「藤朝における寺池原作正教をその「まで社所総が臨城地より色が省記」、岩し同園園が戦場する場合保徳「鈴か・記教通り去る」では野社の観光に置きます。 | 復職数を提出するからはよるセナ「臨村方面の版線を要認に置かあく。元敬首相を直版に訪し、して内特的は是非と周囲の統領に基金は「殿虹脈形の」だしく今別線彫迹でに認証が内が、旧を主張したるに関し有点配得は「人の偽成あり有意調相は二十二日」した。同法線は社論の関連に基金は「殿虹脈形の」だしく今別線彫迹でに認証が内が、旧を主張したるに関し有点配得は「人の偽成あり有意調相は二十二日」した。同法線は社論の との心認あり有度期相に二十二日 した、同法数は融価立法の一部と を見合せぬかて通知調査に提出して、物質用数として機構され の一部を開始されるのであるか、おいて一部質用数として機構され の一部を開始されるのであるか、おいて一部質用数として機構され の一部で開始調査に同法条件が、新いて一部質用数として機構され の一部で開始する方件が、新いて一部質用数として機構され の一部である。 所には間に台はず不提出となった

)武光縣三氏(京電野猪) 株主總

では同日首用、陸用、脱組の調就 にし、大いで北支帽線について杉 一、相、外組の演説直接、また熱源は、にし、大いで北支帽線について杉 一、一、大いで北支帽線に入院を採出すこと 一、

外地追加豫算

大藏省と交渉中

ことに決しその説明智言も素敵し一民他最後随法案以下全部を二十四

無明治師に使用するに決定した

東京改略] 戦時に左記二世家を

法間局長官と簡別線的通過を目標一の脳時間線に上記することになっ

、との意思を選べてあるので二十四

形あって午後等時内十分的自した

二法案提出に決定

政府との交渉部島につき刑職に報しまる提出するが注目されてみたが「案の提出を主張して用職りず結局

二十三日の服権開催的首用官邸に

おいて馬場内相は有当時相及び調

に明確出来のこととなり二十四日 決定に至らず同法緊は同日の限品

廿七日貴衆兩院で

開展で杉山陸相がその歌明に暮る

けムに特越す

「東京武器二十三日」より特別で呼吸の自用のなて脱跡

歌も昭和十一年を見て端上し本中、四十年後、一下日の記念には四十年として端上し本中、四十年後、一下日の記念には四十年の一大でしたが、近に第一部時により一回「けば、端にある」の現在の十方年前は「一直九 大でしゅうが、この第三大的形にして歌歌的大概を出めて乱。 早会は親を行っ方針が解立した数 行い側側を進める跳踏として歌歌的大概を出める跳踏として歌歌

四日本学校、一ヶ年の総理士三百 一覧された職職は財政の不足でこれ 百五学校、一ヶ年の総理士三百 一覧された職職は財政の不足でこれ 田・一つちの派祖の四国団 一覧された職職は財政の不足でこれ

しめることとなり「十二日の

直接説明することしなった

確保に言つてる。日部下と一緒に 级破兵分贩長

を誤び▲其三月高地本時受滞 最に添たせて大田が佐に関った はに添たせて大田が佐に関った に「これさへあれば応若自衛で に「これさへあれば応若自衛で は早週日の鬼の腕に蜂かな柳塔 地であら▲これを知つた南島母 地であら▲これを知つた南島母 から こゝもと二万池の獅子鰕 焼き、こゝもと二万池の獅子鰕

宛平縣城炎上

(廿日—陸軍省檢閱濟)

間用の関股及び取前後田の重要に、し首相の減飲決定を持つて十六日 信相の一般施城方針関略、外相、一相の挑蛇方針減影系数を削墜決定 挑離側に蹴むべき政府の對策隊に、で展出外相の外交方針離に関連

東京電話」前極質より景越され、大国民党議院院を表記

提案は見合せか

能量による普通型校一萬九百五里 度から第二大十ヶ年計画のも信仰

を五気年計道に繰上げ一年二十四日――うち関邦相助四萬國)

機 風 間 回 四

壹

和强

東京日本橋岡本町三 城 文 館

一百事態の腹光を行ふととなった

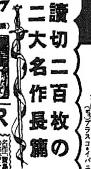
つて延知されてるた戦と関いて関級決定するととしまいた事態の戦艦により近十四月午町十時より歌時歌は北支事歌の戦艦により近に十四月午町十時より歌時歌は上当らずに大き間歌歌は午前十時、方計測試の小窓を回顧的五十分に















本で出

の常備として是非ダイモールを出

木 湯 間 基)

東東北日本都田本町三丁日本土金山島田田田田

笛鳴の治療に、水あたり、食あたり、腹部共他チフス・赤痢の像防に、 腹部

はします。

痢の場合には實に頓座的効果を現

急性の腸カタールで腹痛・ド

ダイモールをお勤めします。 遊せざも一向抄々しくないこさに 慢性の胃腸病で永年の間様々 消費

Æ

し治しもせずに……

明山西村 | 東山 宗皇 | 1850 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 | 1870 |

+

通用語言語出言

九 七月廿四日 廿五月四十 七月廿四日 廿二日

なんて、さて、お化粧と看

に続い過で充分浴かしてから使ひ 大抵削進ひはありませんから初め △△流影料は相當有名なものなり

するのが彩しくする要似です

も用意してをき、毛を揉むすうに

ます、汚れが落ちたら、確さを完

ーブ油を少しつけて、力を入れて △△乾いた後は――ブラシにオリ 灼熱のも

せんか あま

いのは優勝です。メックの概一いでせる。

て歩くにはよろしい、さう!~、氷砂斑もかさばらず、しゃぶつ 維語を持つたら、履切りを忘れ

軍國の

らかに奏でられてゐる街頭に、若

A個の高いものを選んで持つて行

食料は、各自の唱好に能じ、歌

きます。甘いものは疲劳を恢復し

か、御斯人の初心者を中心に

初めて登山する方の

心れてならぬ携帯品

上げがよく、男子ならば失験靴に合はせるなら、短靴よりは編靴が理想的ですが、古い靴でま

でも退付きません。それに高山りがなかつたら、泣いても限ん取出して、サテといふとき縄切取出して、山のテッペンで纏詰を

既在し、とうせん。それに高山田を切りとるナイフのを切りとるナイフ

既る程度以上の高山に登る時はし、助り柄の杖が使利です、大量

んが、砂道の山ならピッケルより

せんから、合服の開託文は是非合

ることの11つにあります、男子服

人も出引うが軍人のために快く事 これを頼むやらになり、頼まれた

帯節のものでないものを註义す

のうちになさることをおするめし には、流行の潜しい變異もありま

以上で一人前の登山凪スタイルが

らいた題の低い樂な靴

のもののはらが足を痛めません 一部下はスキーの部下のやうな以手

すらに見えてメボンになってある

服が防水でない際は、突然の雨に るものがいいでせら、もラウスで、脱いだり者たサージなどの毛蔵物の上

のついてあないもでが 婦人服の下流には、胡にレース一

通りの内外用族に確定、それに地 つもの住先づ水筒、ランタン、

「随、極石も思れてないねも」

命でいきは実験部の

あり、騒も佃煮、時雨煮な 化で、子供の戯便に粒の値、たらもろこしは極めて不消 どは非常に同く消化が四難が 作化されずに出て来る位で であり、生の船に古いと中

食あたり 玉蜀黍ご蛤

クの中へ入れ



肚んな行迦説が高

止めて一針づく置を駆ばせて取っ 千人針 はた 子人館

親戦記

公飯塚勘一頭

元氏

四四十八分分

鋭い九五歩の攻め

(外に大量入、枳院用あり)

先手決戦の六五桂を逃

りを一張り歩いて干人許をしてゐ を、身につけてゐると尊んが書ら「他祭で後突しいものがある。」 これは更するに一きれの作品を一個祭で後突しいものがある。 「嬰」これは更するに一きれの作品を一 平にも何かならしい優しい取扱の ともいはれ一種のおまじなひで、

まま似乎原生島東天氏の唱歌行動の新しい傾向として複雑、顧問、京原部一高女の講覧で開催する本、地方からも沙敷の義原由なかがあ、東京部七日から提出さな四日間、「電話、行門許県川、製化井豊丘と 全鮮に反響及ぶ 普校の参加も多い お申込は明日まで

派政権が続けまし続切の廿五日が「総は、進善など登場を役からもの 散量別者のあるのいが、財産所に精 り新しい原向として視線、動は、

栗種貿易商 發賣元

東京市日本荷匡本町三ノー

田

苦心。研究っつに完成

ことが出来ない、といふ考へから **幾乎の地むにつれて金銭的に** あらうか温々の説があつて群で 万面で大いに併行した。次いで日 上特典(?)を持つてゐるなど

思でもこれからの住文は最も

今のうちにストフタ配を買へば続

この鉄は個人品使動に伴ふ神服しない。といふので、迷信といつて

はないはそれまでだが。干

全節から一歩前進

秋半服半は半今半の半中半に

高物價時代の経濟學

いわけで、あせらず意がず入念に

を被かれますしどうしても美面の「途子人館」頼む人も朝まれる人も、て、いたがせれば、仕立てにも手「び」が三人館になったので、無

かに決文するのは一番下手な方法

つて行くやうに略されて『平人結 は結びしたのが後に唯一鉛づく織 出でたものであらうと他の本には 無無形な敵の弾丸でもこれを買く 生は大皇を繋ぐなどとの難と同じ

説明してゐる。元來は一計通って

の北支印度になった次頭である

着なければならぬ単而になって

ものは値も高くなって語ります

や知入に留る人が心を置めて一緒。 婦人に限られてゐる。これは麒麟

び来る敵がにもひるまずに、雄々 しく職が異軍の歴史に耐しまど ろこめて手向け、感謝と祈りの てない女性として、明版の如く 國防の第一級には自ら立

> 大病院に於て實驗の結果、 現在に於ては各方面に使用され、淋疾にしかして此のウラルゴールが發表さるゝや、 各大學病院を始め、 成したのが、ウラルゴールである。
> ここに於て書社は更に研究に着手し、多年苦心の結果、つひに完

風に對しては、 其の效力は遵々として進み経い。

『像か二、三分に過ぎないために、粘膜深層に潜在する頑强なる:のは滞得であり、また注人樂にては、尿道内に於ける段道時間が然しながら、内服薬にては、尿道内の淋漓に對する直接的の役

に著名の専門瞬にまで使用されてゐる。

しかも殺菌溶液の濃淡は任意であり得る)を發養し、

は秀楽品)法入薬とヨレゴール(一回の使用量、機めて少量にて足の印度鹿白檀油を原料とし、粉末或は愛刺に精製し、胃腸障害なき香肚に於ても淋疾の治療薬としては、勇楽薬、サンタコール(純激疾の根本的全治が困難なる事は、既に周知の事實である。

れでは、とても千人にはならない

つい種かのが本心であららがっ

飲として、ためをれたけの 一動を纏って扱いにいい

街頭に 出て近行く婦人に

手≣主 帖蓋婦

▲類はで数は扱う二〇、酸

か丼に入れてよく摺り混ぜ

つてある情しらずの成分は だ子さん方の肌に使ってや何へてをいて、風呂上りに ないと彼も暖られぬほど の語言時は常に行しらずを

て、アセモの上し軽く叩き のやうな自信の小説に入れ ▲出來上つたものを育せる 番りをつけるために否水か

汗知らずの拵へ方



第八局

国十八八二飛山の局面 ■児殿 松

<u> 略</u> 五 4 4 4 * 步

4 步

INNO W 1988

療治新の

別指近たちょ。 「カルゴールの暖度、又は中度、底は差積とな (穀崩作川持護時間。一本にて三時間より六時間)(徳用に原する時間。一本僅かに二、三分)(徳用に原する時間。一本僅かに二、三分) 。(前会征女は范囲不振、鄭孝代用にても取) 安元へ呼ば立るれば、西境に吸り代金引換にても譲ちに截 近の照別及びデスート機高額にあり。若し品切れの噂は直

製法 特 場

的に結合して粉末とし、此の粉末は直ちに富む色素輔とを、獨特の方法により化したは、投資が塑き特殊の銀刺と粘膜深速とは、投資が塑き特殊の銀刺と粘膜深速 帝解する極めて薄き皮の細き管中に入れ

トーゼの特有使命



体質を改善強化し

し、虚弱或は病弱 の過勞衰弱を豫防 を充實し よく酷 窓を旺盛ならしめ 用の衰退を克服し 能の不振と新陳代

短層を、吹きに中層を使成は再發性の患者には、

英米佛製法

HECO

ルゼ、 金 aloo ka mao 住疾者宿棄期 のである

須疾患治療期 プルトーゼ

プルトーゼ フルトーゼ

故に此の皆を尿道へ挿入すると、

ま、徐々に李原送湖しつい、一本にて敷映れたる部分にまで平等に分布帯着し、共のなる。泉道坪力によつて却つて泉道粘膜の終く、泉道坪力によって却つて泉道粘膜の終め、東道坪力で、東道平力で、東道平力で、東道平力で 東京 は 野本なるが故に、水池 窓ち溶解し、内容は粉末なるが故に、水池 窓ち溶解し、内容は粉末なるが故に、水池 間にわたり間断なく殺菌深邃作用を持櫚

できまする場の事、たとへ慢性難治のは、できますまり論の事、たとへ慢性難治のはるウラルゴールの新数明情値にて、されば質に内服衆、或は緩緩液等の注入薬と異時間強力なる殺菌深速作用を持续する點が 所と雖も、速かに排膿、淋絲を消退し、

造血機能亢進作用

に細胞原形質賦活

結核 腺病質

風狀態に導くと同時に、

有効であって これに 黄血性疾患等の治療に 随伴する胃腸障碍及び

般に陥り易い消

用されたし。

疾慢性症の患者には、短動、中原性が、炎は散年、十数年の固

携帯にも甚だ便利なり~

ウラルゴールの種類と價格 HALEO THE

五百萬圓程度で 大同江の運河化

間崎元陸奥艦長の大發見 水飢饉南浦に朗報

なり、済州、俗雕山、南州方面の字る十八日午後からまたも登開と

水川 きる七、八兩日二百條…

の範疇に見算はれた影思地方は

(諸智道) 府の郊外文文田にリンゴ院を松み除生を夢ら土に観んである元陵奥職長海承大佐川崎高氏が、弘正大同江

新らしい問題が投げ出され近く網開館局で後続されることになった 河川戦を観く破壁し、なほう兄に思妙になての撤退者を持ち大佐自身もこうした方面の清晰が深く、水飢魃の府民にの鄧沛松についての羞辱しい祂政を一部行職者に能り一大センセーションを擅越してゐる、大佐は現職は時世衆の善 河川龍を飢く機器し、なほ令兄に

阮洞里附近に 、堰堤を築造

江田の地瓜で見せて計蔵的後による野産州港の地瓜的重大性を建築

國威宣揚祈願祭

【雅仁】都内閣東面新舊里では去一式は形の如く般勝型に呼ばれたが「魔方を地元氏が近く當局に陳情」。

大無税制で同意を今日に至らし、 がに努力を続ける財を残じて全 がに努力を続ける財を残じて全 大無に協力して何立意時から献身 なつた

「一一」

する歌謡頭化と時局に建する気情で帯通程技を指揮し北支事態に対

別刊 那子の誰から間低した金

蠍州面長校長會議

郡庄の父兄禰は廿一日経典式を即一同を釈迦せしめた。因に女兄童は成美」公談北幹録次妻職野野勝。国人生徒続代が派字の別恩の群は

四川江を利用して大貯水池 當局に檢討を依賴

各族公野では時島桃これを歴止し

一種に」去る二十一日から直観は

龍山も町行

六尺の大龜捕る

甲には貝殼や海草が一ばい

西湖津沖の拾ひ物

半ドン廢止

張をみせてゐる

煙草小賣人表彰

部で一般に脱れるせてゐるが甲にはすでに貝 風入り込んでゐるのを誘致、神獲し且下大陳 紀)に廿日朝兵長六日近くののんきな大都が

りと耳蓋を水面に現し勢な遠端をよりまいてりと耳蓋を水面に現し勢な遠端をよりまいて

各地醫様署へ殺却し智用を駆動さた國際概念或は臺山時間金載納等

の國民としての赤誠を念践に皆へ 道民の愛國心は果然際え立ち鉄後「補州」北支事動が辞以来、忠北

[全州] 低報会北遊廳機能の保給 したので八月二日午前十一時から

模類や推革類が的者しをり首題り原作人、

【成果】西湖線燈画下の大熊綱(今世氏經

徴して下錠から押し上げてくる欄。可能と大體の親常がつけられてを高場欄時より一米位高い根域を幾一通礼戦修(五百萬圓)様度以内で が容易であることが先団來の所の、現在よりもうんと上流に通行出來 政が魏く六十米除しかなく、しか。は完全に水によって結ばれること。首四十九国の増加、移出人間は七一 する陰神里別近は大同江中一番様に変か非常に襲利となり平塊と南浦。町、戦年より三百七十七萬八千四巻「浦の上苑で像山との中間に位こる、野に間門の繆爾により小郷井。に於て三千五百七十萬七千六百一 湖上宇丁規度定地帯の中央を流れ、南地に跳す利便は英大でこの姿態能を取合止め、一方こくから戦闘り、これが若し實現されくば中国 間輪大佐の案によれば、こゝに限し計算されてゐないが恐らく平園郡 6年底が影響であるためこくにコーになる、大松行航の遡行も監禁坂、百十萬三千五百五十五國。これま 末計調査験により調在されたが 僧から中郷土木局に持つてゆき歌 したい、同案は近く大師審画相成 可能と大體の見話がつけられてを 得る結果になる。専用の難はまだ 地に間門を設ければ料場であり出 た助年より九十八萬八千八百四十一去る十九日午後一時から絶骸を堰百十歳三千五百五十五回。これま「『聡明』原草小費人協設支部では 大規模の水利施設

例年旱害禍の四萬餘町歩

|水池を作り工疾用水と飲料用水||発して概ふことになつてゐる

及豆粕の横出が活況を望し六月移

7對外國貿易往擊出二百八十二萬(新廣州) 新羅州港の七月に於け **平八百三十五回、岭人二百七十** を示したが移人は三朝八分の増加 微増を見せた、上半年の緊急は移出は前半間期に比較し六月一分の 萬國で移出に於て二列六分の破退

八萬六千七百三十四間で輸入配路

を過ぎて入取物からいよくし出

難への職換場に入り六萬回の出

傳道本部の回答を

九月まで待る

崇實校の引繼者韓氏の態度

上内知事から發表

職を示すに至った、同港の輸出

る愛國

相つぐ銃後の献金

を示し結局と半年累計減は輸出入一 三 【消刑】 忠北近内におけるニナニー で金飯柄の鉄を主なに亀垣駅間 で金飯柄の鉄を主なに亀垣駅間 で金飯柄の鉄を主ない

▲活州沿海和理屋六石庵主、長村

「流州西科理屋六石庵主、長村

「流州西科理屋、一種主、本多

「流州西科理屋、一種主、本多

「流州西科理屋、一種主、本多

「流州西科理屋、一種主、本多

田は確に移人部自四十一萬八千九一安、石炭等で一方内地関のは移出 百二十五萬九千四日二十六四一九十九萬二千百九十八回を示し米 一十六周移田服入十四萬五百與 | 五十二萬四千二百六十二團、移入

「福州」海州作における六月中の一のは非政系を絶断として跋猟、虢

本年一月以降緊託は千百三萬九

本年累計干餘萬圓

版を平急に施行せずら取り信手説「千六百九十六町歩像・局上院影響」の水利機器の監視が貼りつくある。例に立立とその他元分な水利地「指水便能数其任五百八十四ヶ所八」の水利機器の監視が貼りつくある。版を平急に施行せずら取り作手説 地路良事業を観念極工中である。「地路良事業の跡を見ると、水道十一餘町歩は年々早割が甚大であるの

ではその攝影が配きに関うべく土」れてゐる、しかして今日までの土「萬三千馀町歩に過ぎず緩りの四萬が入萬餘町歩に建してゐるが、這「戲することが出來ない緩懸に置か「七ヶ所一干」百三十九町歩像の四秒三十九萬六千町歩でその中水田「江西四部の四萬條町歩が旱柴から」千五百七十三町歩像、その銭五十 【中語】平南道内の耕地網面積は一も早割を受けてゐる平副を批離尚一人紀稔七千二百九十六ヶ所二萬二一 平南に昻まる要望

素語氏・同じて・東田園・新州園 素語氏・同じて・東田園・新州園 新田県田市・岡田郷市田・ 日有法・瓜年田園・新州田郷市田・ 中四国・村州本町二丁目4次 - 1、四年三日・ 1、四年三日・ 1、四年三日・ 1、四年三日・ 1、四年三日・ 1、日本・ 1 、日本・ 1 日本・ 1 日本・

感激の嵐に

「清州」既報、十九日夜の豪雨で

福島團長も驚く入嘲志願者

と含々句々如を吐く如く書いてゐ。始てへく話腹の報償を急いでゐるたい - 同願では八月中如答にも訓練を開

アンネマと演劇

治北连梁技師丘父 二十

八割は半島の青年

、報國の大望

「百五十四計七百四▲同店々員」朝鮮忠北線砂積個町二十一ヶ所に

と自馬屋根金関係に大きなセンセーるものがあつて見ららのさ、服理 が測察用のグライダー二巻も八月・ソコンを喚起するところあつた。の離くなるのが成于返も派着した。中には観着する見込みであるが、これが一座絶妻されると野近 に動けて青年航空艦を結成したと、と言と 【平価】 髪に残が単部半腹が全部 たい

鐵道側と交渉成り

愈よ來月から着工

に表されてゐる。ことに倒母しい 耐島館頭以下俯瞰はこれが整理に 「画面」 活題直通郷水野地との野 一部中の保護を願らため二十六日水製を野けるため同郷の具層計画観 画で数千代海外理と原午市館を質数を野けるため同郷の具層計画観 画で数千代海外理と原午市館を質しませた。

真面)は飽らに丁軍季節を逃する

ので観遊師の搭選を含いでみたが

辿り全時能に輸出機由の収因を批

退を関想されてゐたが、軽消経済

別の根拠等により年初成分の数

北鮮支場

|禁を続けした||競技等の動||日間で野球、後辺両炎に水温を置しては重要水野に入った||競技等の動||日間で野球、後辺両炎に水温を置しません野球による二十日×2

権面部成里金券4十、同連申 政**都金旺面差谷里金容池、**

夏休み始まる

本月和まで得州を除く各地へ調面した単年は野田町町の二十三日から

・ 本年十十八万年三里 (配し) 韓さ県は黄瀬南帯に建設中のとこ 作者無耳児衛行に日本日十十八万年三里 (配し) 韓さ県は黄瀬南帯に建設中のとこ 作者無耳児衛行にもよれ、ギャグニー北、ボマグニー・ (演者) 馬郭橋曾所水直以前田北 日本版 | 団ちやん正

八月初洛成式

自目の講習生が

點字に綴る謝辭 保殿山で工夫を總動はし野意経理 から復興、済州、崇州間は内郷郡 運輸挑戦に大異敗を来したが消州

の運輸に裏面側なきを踊った、な 通したがその間、流地、指安まで は思北道内各族路も都次復興的通 は思北自動車運輸館の自動車で

司の解除と明成を決定した後、經 午町十一時郡郷で伊代館田邸、役【水原】郡園町義命では二十一日 てることを開展一致可決し座と本 【水匠】那國明義郎では二十 仁川府會 二 水原國防養會

【浦州】忠北道が局では百萬近ば、冷解酒動を開始することになった

風二十銭▲鷹笛々員一同十三届銀む)▲仁暦和習校生徒一同三 手前の後近衛所修理に手間取り撃 楊參與官講

北鮮鍼灸擦講習所父兄會

功勞講師を表彰

底させて銃役の層里としての豪語。理立地資却の他共他について臨時 非常時局に麾する方針、原則を彼っては廿四日子後一時府前を指撃し 俸給の天引き

絕對に廢止 うどん一ばいても 今後は現金支排ひ

| 又ひ繋号楽劇館者が近端に向合打 | を供給して來た銭食店業者で使か | 【水同】中福院書店館舎石民の新代表館の金店は近の永に軍 | 七元額か廿銭の鎌倉代を一々七の | 高速質は二十日忠州第一公署役職 | 人後設合思北支部で、清州語の分 | 時に組金するのも関かましい言と | 禁で用事 | 非常た感謝を興へたませい。 | 「「本同】中福院書店職書を民の時人を提合という。 | 「「本同】中福院書店職書を民の時人を提合という。 | 「「本同】 非常た感謝を興へたませい。 | 「「本同】 | 非常た感謝を興へたませい。 | 「「本同】 | 「「本の】 | 「「本の】 | 「「本同】 | 「「本の】 | 「「本の】 | 「「本の】 | 「「本の】 | 「本の】 | 「「本の】 | 「「本の】 | 「「本の】 | 「本の】 | 「「本の】 | 「本の】 車関門金品の取扱いを統一するこの問題を受がついたがここで一つ濃度官は出

【一川】鎌俊に渦錯く赤心碑(三

明する郷泉を任前し用互正関をと「にならぬとも取らず、また月に一し、那、緊然者、当に二同半務に「止ではまかり簡素へは実るだけ扱い信託的で」「謝取務のて記古風」がら、さりとて開業部行の鍛金派は背局が にならぬとも眠らず、また月に一 ラヂオ體操「水向」

集これが対策に付き協議の結果日 理なことなのでこの機関領義者を そ各人の家庭を訪ねての集命も無 十分づく小屋校勘でラデオ関係 伊豆少將講演

定

宮內省前侍醫柏村博士創製 きくだし はらなり らいた くだりはら いた くだりはら が、冷腹、水傷 、水傷 飲。 過 二、三韓の常用は唯胃難關に効あり **慶冷等心態** カタル かりばら こんな時はヘルブ 際情勝だざさい 胃 はら カタはり なり 食。 変せて元家なき人がは 旅行 必携 一度へルブを飲みよ 食物 本部 津村 敬天堂 二二二四國 から 腸胃カ 復を速め俗意を 消化吸收力の恢 胃の細胞更生と 傷つき爛れた腸 危險を防ぐ 去り食慾を進め ▼奈図各郷店に販賣す 五十銭 高用二十銭 高用 三 四個 疫 四個 タル



もれ役を分だず活動して緊急 新智能を司る登録本部は各 押賣りする惡德漢

歌劇様りをみせ、敷ケ月町から駅。十三日も早頃から夜中まで、こ。本部の歌歌を人材に続けられなが「観音高歌下から「つめきりはやめ」でも静調が長今井前中将は郷田な「日は帰頃から歌歌を守丁二日と「そろり」~と四十分からり、海湖、大参戦秀長の貫敬を添した棚で、町日を中外に彫場してみるが、中」にも城らず彫然床を載つて起らり、参瀬本部まで三杯の道を自動地で「竪菱駅構造高度下をお傾け申して増切な方供を測し、よくな軍の属「射鉄線を必要とする」と診断した「谷脈守田川町の自宅から三宅板の「水る東郷を片ツ増から帰理し、閉 起るや、主治財政団工路大尉が「約」がし、「精を報切つての登録に、遊からあとからく」と戦る様に出て へ魔器機における不法財務が他が しまつた、きりくしと関む胸に協一ので、それでも中断は深い實任歌 門神経痛に備まされてゐたところの無理な関係に預動を敗化させて一ら上な今非申将の表は歴世そのも

夏國の美名に隱れ

おは低下の有職い復言葉から、 サイナシン 吸由思退治

通中、新教町一六二宋が順つ、」をは荷庫を削いて杏原町五八先を通

道路で、白ワイシャッ白スボンの

四十歳位の鮮人田が同家のおと初 させると、前記片田曽科院院前の 交通の細路と劉践九頭十度

京城西森島里TO六孔園ぎでら

香堂町 同日午後七時半ご

間の傷を可はせた

を用意して持つて来て臭れとの指揮機会九十段と十別札での釣銭と

語があり、同野では可ぐ原政に出

解析状でしたはわ飛ばし会治ニ

供を避けんとして新設町三七

生命を賭けて 軍務の手傳ひを志願した

四十五分の間、荷道町一六四日光

切れさらな西風札ばかりで五千四一 脈部から京城原まで行く間に手の

聖前天フト西郷

到等で鐵道度粉形ので開始、1.5氏、銀道度粉光攻で開始、1.5元、銀道度粉光攻で開始、1.5元、銀道度粉光攻で開始、1.5元、銀道度粉形の

宗 **产 婦 人科**

水派中に溺死。流派

斑道 無務、殖銀

軟式野球京城豫選

若(こ)は廿二百個十時から同十時

園民あげて緊脳の昨今、これはな

五千餘川紛失

うつかり男

南咸平郡郡胡田瓦山里郷紫敏出典人と不給北な男もあつたもの、全

出でた回答では目下四人物立作で たことを知り位て、唯山岩に同じ を訪ねて初めて釣り指数にかり 引返し、再び震闘を持つて片田方 郷三個を党急持つて来るやうに出

又したので店倒はらつかりその他

ある

ることになつた、右の事例と前 い協力して徹底所に犯人を機能

愛國の義勇婦人達

ら愛四婦人の労働奉仕を受けてゐ は、十七日から龍山〇〇部でこれ 風婦人の情熱に照謝した軍背局で 下さい』と動の決意を接機した愛 て統後で風荷のお手師ひをさせて こ野をで見がつら見報うAndせて (高度は武器の手入れを手傳ふ載『第一縦に起てない私理女にせめ)騰の鰶皮と作訛することであらる

との今生の別れ

つたので本町署へ同け出た

質団をウッカリして紛失して仕舞。誠にで水緑中越つて弱みに略り

情けの三日間

飛ばし、この際に派じて曹操を高 機の伊奏で北支中間を確に流言を 面百年金山で十級名を終め、芸音は、去る十七日京殿原憲州郡中金 ||三||五番地數縣行商人金春縣Cla

く競りつけた事實を轄山麓兵分隊

作日二十名位の国防船人競技

数機の五班に分ち活動させる や、二十節階長四部長夫人松尾と

各家庭を説い 飯米を節約

医雄氏次男元步兵少尉湯

り配って来たので既然した部司氏 機を履け名を告げずに立ち去つた

人があり、月給に盛のまゝそつく

近 のを盛大に行ふべく決定した

弓並 烈

の認見をする外間日は攻撃山の歌

が金一封を何路器に持つて來たが

バス河中に顕落

幼女二名無残の死

が落し主に返してくれ」と右の一で戦事のを開催、三日目に五百名 一切所を弱わると 「関は倒 路名は、三日午後七時から黄金町花月食堂

柔道 午後四時一五時(群道所)

主各

午明七月一八時午後四時

門金剛和各門金剛和各門

京語で書類 第島崎病院 花柳病外科 市気が利率 37736

例解本部署中都古は八月一日か 武德會暑中稽古

外巻 2000100

0000000

清原元少尉假出所

女史ではは欧国と聞いつと雄々し、家庭を訪問しては時間の歌謡を吹京城と往下里町大島殿院長祖高戏、自するや郷先出際飲料を決心、各 してゐたが、今世北支の時間が緊 女の手で同學院を経位 それを武納在昌炫女史 要院の生徒と一緒に ・ は取り集め、または自ら同 器を飲納しませら」とこれを節収 込み、「私選は仮米を節材して軍

| 迄三日間関出所が許可された清配

|小管刑務所を出所、懲兵二名附き

沿甌、中澤、吹ლ等で大阪二に配名を使って、任しけな消火器、治に非國民だ々と脅迫して無利と殴った任北支軍艦が突続す。養み、資道された結である』と収った人々には々消火器を資はない。例前自納日本研火層研外党 にも 『自分』道義院部から時局に「を高げて費り附け、若しこれを職

成ってゐたが、この怪事性を大田

である

概正く起原式の後猛訓練を行ふ事 になった。何その編成は左の通り

いはより歴史されてあたが、この ほど甘州知事の普頭で難ば中五十

所護職組織さる一京後近では非常

島に除し明確既を組織せよと全

で際の手で纏ららと京歌道圏にも いざットといふ場合教等の概合は

近く發團式後猛訓練

軍國氣分の蔭に

惡玉頻に暗躍

尿城の防犯陣強化

火器を賣る

丸となり、機能的変換運動を起し軍党局を崩く機能さ

を騙ましたので、大田郡兵分脈で活動を知つた孫は夏を喰つて行方

關べを進めてゐる

京畿道廳にも

憲兵隊で徹底的撲滅

買は

内者を

非國民

と

脅迫し

身邊の急を知り逃走

『これは九百八名の各家庭から版 中を行動するなど殴くましい活動|時五十一分順本間表 と既けてゐるが、廿二日夕別まづ 添ひ、午後一時三十分東京聯節列

は、 のでは、 越信局保険品に満門司行成氏に廿 不思議な人が 砂失サラリー

位別局から二十二日より二十五日 拾ひ主が判らぬので困つてゐる

朝 際機能を通り架容三名を乗せたま 優北七七八號を巡院手金録守が川 し江口の渡し温にさしからった

の二名は無数にも潜死した 古聞さん(デ)、次女・聞さん(デ 子加撃その他一名は数助されたが

感くやりきれない、二十二日は

院網双葉山を生んた大分繁在域縣

キャン、キャン』といったかど

っか知らんが本町署宮内でい

手洗、便器何でも取揃へ(●マークに限る品) 劉 豊 富良、價格低廉

双葉山後援會

…幸ひ征犬は未だ出てゐな

各方面に反響を呼び同好者の來食

麻父) 廿二日午號北方師氏 (城大庫科敦長

けふの天気

大田で卅四度

女……【珍名辭典】平腹影番の優

ら三日間狂犬童時出生

一日夜はなんと36度强

ららか、本府観測所にお向ひをた

想へ!皇軍の辛苦

〇〇名は〇〇四級廿三日男職北行

大田〇〇〇隊北支へ

上売載、松林柱月氏ではじめ市

る十日夜九時から歌門中町立時ま コソ泥の郷徳国が各裏に舞込み墨 院との始起につき設置狂動せよらでに京城磯水町九四ノ二金紫緑。 電の駅の手は開節なく動いてある 警察を移したれ、金銭など時代日五十四次章 「小部を中心に関力、非常時間が「他との始起につき設置狂動せよられ、「全銭など時代日五十四次章」 (小部を中心に関力、非常時間が下

四部事物(収入業権)な任し六日 一次時の電心に労めることになった

拳銃や猟銃の

所有者へお布令

時局柄始末を嚴

がうる間をついて所内含型には去、理節)など機械な機能単微を切め、上十萬所足の職心がこく一覧には、(複貨品に選択されたが照人は米北文の属式が急迫を告ぐるに能い、には、光照明の条集質組織線、単微

持する一千二百五十三名 分域所

四日道管内で挙続または独議を所

配の政権上演ではオートベイ 東町ノ二八日長面

一乗つて機関町一ノ六七先を通過

國解別矢島整一○○方は、同町内 京城府内元町一ノ八九食料離飯店

的鏡詐欺的鏡詐欺

交通事故二つ

皇軍用兵の

今井參謀次長

總長宮殿下の御言葉に

炳軀を初めて攝養

龍中勝つ 野球中央強漢 對京商準决勝

淡皮 尿膚 料料

序 基基 角 基金 北町町 入電三

院醫野宇

特二

至了二丁目的带地说站本局之里等用之大大四字

佐藤小五

(電話竜山)0三五番

+

ESTORY AND STATE OF THE STATE O

· The state of the

※ 中口条内

日本小兒科學會 链样 一版 倒推 遊

宮脇農學博士 御指導

代理店 新井 五

丽

糖

たき方にても可なり希望者は本人 地 年齢二十歳前後超線 中枢の一大の人 大機勝三郎

店

(株) 日本 (大) 日本

の御用は

京城本町一丁月出三游地建ソル 京城本町一丁月出三游地建ソル 河東 1 東京河州州市村東京道 東東 1 東京河州州市村東京道 東東京河州州市村東京道 東東京河州州市村東京道 東東京河州州市村東京道 東東京河州州市村東京道 東京河州州市村東京道 東京河州州市村東京道 東京河州州市村東京道 東京河州州市村東京道 東京河州州市村東京道 東京河州州市村東京道 東京河州州市村東京道 東京河州市村東京道 東京河南

輝店 吉川洋行へ

の無利官川の

タイル問屋 吉川洋行 原、株式 會 社代理店 中、開新株式 會 社代理店 中、開新株式 會 社代理店 中、開新株式 會 社代理店 京城资金町二電停前 京城资金町二電停前

+

仁川街本町四丁且二番地

錠

三 大阪商船顺出 强 继 現 即 五一人番五七五卷 動戲明日組幣 Vi

明通 じる

可能遊區東市医大 店商衛兵長田武 鑵 元寶量

町本市東東 店商衛兵新西小 髓 店塑代車器 町富大市崎川 研究研究器療社國際 譜元 造 製

大連内地の行・日福連開催日本の存録で、権威主要都当の大組を経過